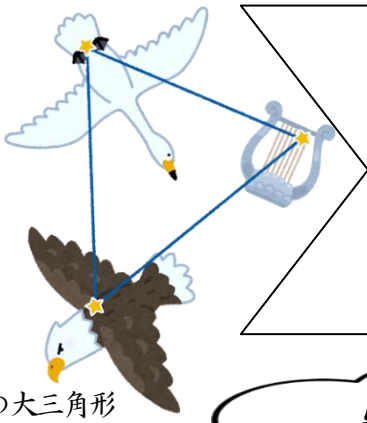


シルバーだより

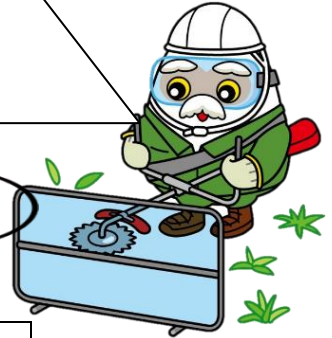
(公社)南部広域シルバー人材センター
本所 66-4011 伯耆支所 63-0222

8月1日現在会員数：305名

夏の大三角形



安全就業 事前の点検 事故防ぐ



7月の入会・退会

入会

(西)

退会

0名

蜂刺されとその対策について (全シ協安全就業ニュース引用)

7月～10月はスズメバチやアシナガバチが活発に活動する時期で注意が必要です！！

蜂、蛇に刺され、噛まれた事故でここ数年死亡事故も発生しています。蜂がいそうな場所の作業では、作業前に蜂の生息状況を確認し、蜂の殺虫スプレーを常時携帯してください。また、服装は黒地を避け、皮膚の露出をできる限り控えて、ヘアスプレーや香水等の化粧品の匂いのあるものは避けましょう。ジュースやスポーツドリンク等の匂いに近寄ってくる場合もあるため、注意が必要です。

～～～蜂に刺された時の症状と処置方法～～～

症 状	処 置
蜂に刺されたときの症状は、刺された場所の周りだけに現れる局所症状と、体内に出る全身症状があるので、症状をよく観察し、直ちに処置を行うこと。 <局所症状> ・刺された箇所を中心に大きく赤い腫れ、痒みが出る。 <全身症状> ・刺された箇所だけでなく、体中に症状が現れる。 軽傷：顔や体が飲酒時のように赤くなる。 全身のかゆみ、なんとなくだるい、苦しい 中傷：喉が詰まったような感じや胸苦しさを覚える。口の渇き、腹痛、下痢、嘔吐、頭痛、めまい 重症：意識がもうろうとする。さらに悪化すると、痙攣、意識消失、血圧の低下がみられる。アナフィラキシーショックを起こし死亡することがある。※ショック症状が現れる時間が短いほど危険性が高い。	□刺された場所から速やかに離れる。 □毒針が残っていたら速やかに取り除き、毒吸引機（ポイズンリムーバー）等で毒を絞り出す。 □冷水で患部を冷やし、毒が回るのを抑制する。 □赤く腫れ始めたら、抗ヒスタミン軟膏を塗る。 ～～～症状が悪化した場合～～～ 「119番」への連絡を行い、一刻も早く医師の手当てを受ける。 ①安静に搬送する。 ②仰向けにしてベルトを緩め楽にする。 ③頭を低くし、吐き気がある場合は横向きにする。 ※患者を搬送するときは、決して背負わず担架で救急車まで搬送します。 刺された直後に目立った症状がない場合も、処置をして安静にし、医師の診療を受けてください。時間が経つにつれて症状が悪化する場合があります。また、作業を続行し、動くことで毒の周りが早くなります。「なんとなくだるい、苦しい」という体のサインを、蜂に刺された本人も、周りの仲間も見逃さず、甘く見ず、お互い躊躇せずに声をかけ合って、何よりも命と体調を優先してください。

